

第二十一回帝國議會 院 鑛業法案委員會會議錄(速記)第四回

會議

明治三十七年十二月二十一日午後一時十分開議

出席委員左ノ如シ

堀田 連太郎君 荒谷 桂吉君 松本孫右衛門君
平岡 浩太郎君 横山 一平君 金子 元三郎君
波多野傳三郎君 是永 歳太郎君 大野 龜三郎君
伊藤傳右衛門君 持田 若佐君 青柳 信五郎君
神前 修三君 遊田 研吉君 坂本 金彌君
藤 金作君

出席政府委員左ノ如シ

農商務省鑛山局長田中 隆三君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

鑛業法案

○委員長堀田連太郎君 ソレデハ昨日ニ引續キマシテ、鑛業法案ノ第三回委員會ヲ開キマス、委員長ヨリ御諮リヲ致シマスガ、審議ノ方法ニ付キマシテ、先ヅ第一條カラ逐條ズツトシマヒマデ、一ト通質問ニ兼ネ、討議ヲシテ、假ニ極メテ往ク、尤モ若シ末條ニ至ツテ或改正ヲ生ジタ場合ニハ、前ニ溯リテ變更ヲ生ズルト云フコトモアリマセウカラ、始メカラ確定議ニハシナイガ、兎ニ角一々意見ヲ定メテ、逐條ニ涉リテ極メテ往クト云フ順序デ、前ノ十六議會ノ特別委員會ニモ、サウ云フヤウニナツテ居リマスカラ、其例ニ依ツテヤラウト思ヒマス、左様御承知ヲ願ヒマス——サウ致シマス、先ヅ第一條カラ始メマス、御質問ガアレバ御質問、御質問ガナケレバ、討議ニ移ツデ、假ニ決定ヲ致スコトニ致シマス

○伊藤傳右衛門君 第一條ニ選鑛及製鍊ト云フアルノハ、餘リ立派ニ限ツテアルヤウデ、之デハ鑛業ヲアル人ニ於テ、例ヘバ石炭ノ鑛業ニシテモ、石炭ノ機械ノ修繕ヲスルトカ、又ハ其機械ヲ修ヘルトカ、其他イロ／＼ナモノガアルノガ、別ニナルヤウニ解釋シマスカラ、私ハ此製鍊及選鑛ト云フノヲ、除イテ貫ヒタイト云フ希望ヲ有ツテ居リマス

○平岡浩太郎君 私モヤハリ御同感デ、ドウシテモ舊法ノ通ニ、第一條ハヤツデ貫ヒタイ、實際ニ於テ私等ガ近頃ハ金鑛ヲヤツテ居ル、所ガ金鑛ヲアルニハ、非常ナ嶮岨ナ所ヤ何カラ運搬シナケレバナラヌカラ、索道ヲ架設シタコロガ、索道ノ柱一本ニ付イデ一年ニ何十圓要ルダノト、無法ナコトヲ言ツデ、始末ガ着カナカッタ、ソレハ漸ク村長ヤ何カガ心配ヲシテ呉レテ、極リハシタケレドモ、ソレデモ下等ナモノヲ入レル、平生人ノ通ヒモセヌ非常ナ山奥デ、仕方ノナイ所ダケレドモ、選鑛トカ製鍊ダケト云フコトニナツデ、サウシテ今度ノ法案ノ五十六條ナドニ依ツデ見テモ、見出サヌ、ドウシテモ是ハ現今ノ法通ニ、モウチツト區域ヲ寬ニシテ置イテ、而シテ舊法通ニ、是ダケハシテ置イデ貫ヒタイト云フ希望アリマス

○政府委員田中隆三君 唯今ノ御修正ノ御趣旨ハ、御尤ニ開エマスルノデ、政府委員

員ノ方デモ強イテ反對ヲスルトガ、何トカ云フ譯デゴザイマセヌガ、唯之ヲ斯ウ云フ風ニ改メマシタ趣旨ダケハ、チヨット申上ケテ置キマス、現行法ハ單ニ此鑛物ノ試掘採掘及之ニ附屬スル事業ヲ云フ、附屬スル事業ト云フ言葉デ、廣ク申シテ選鑛及製鍊ト云フヤウナ風ニ限ツデゴザイマセヌ、ゴザイマセヌガ、附屬スル事業ト申シマスレバ、先ヅ選鑛製鍊デゴザイマスカラ、附屬スル事業ト云フ廣イ言葉ガアツデモ、其意味ハ先ヅ選鑛製鍊ノコトデアルト、斯ウ輕易ニ解釋シ來ッタノデゴザイマス、所ガ近頃ニ至リマシテ、或ハ此石炭山ニアリマセウガ、「コークス」ヲ製造スルトカ、或ハ粉炭ヲ利用シテ鹽ヲ製造スルトカ云フヤウナコトヲ、ヤハリ屬スル事業トシテ認定シテ呉レト云フヤウナ風ノ御請求ガ、アツタノデゴザイマス、其ニツノ例ノ中ノ「コークス」製造ノ如キハ、稍、當局者ニ於テモ、實ハ疑問ト致シマシタノデゴザイマス、附屬スル事業ト見イモノデナカラウカト云フヤウナ、詰リ首ヲ傾ケタノデアリマス、鹽ヲ製造スルト云フニ至ツデハ、餘程縁ガ遠クナリマシテ、ドウシテモ附屬スル事業ト云フ譯ニハ、イカナイト云フヤウナ實例ガゴザイマス、旁々今度ノ改正ノ時ヲ機會トシテ、ハッキリ範圍ヲ極メタ方が、取扱上モ便利デハナカラウカト云フノデ、斯ウ極メマシタ趣旨ダケハ申上ゲマス、唯鑛業ニ附屬スル事業ノタメニ、唯今平岡委員ヨリ御述ベニナリマシタヤウナ、或ハ鐵索ヲ引キ、電信柱ヲ建ルト云フヤウナ場合ニ、他人ノ土地ヲ使用スル等ノ手續ハ、現今通改正法デモ五十六條デゴザイマス、五十六條デ極メテハゴザイマスデ、其差支ハゴザイマセヌノデゴザイマスケレドモ、唯今ノ例ニ述ベマシタ、「コークス」製造ノ如キハ、直接ニ何處ヘモ籍メル所ハナイヤウデゴザイマスカラ、サウ云フコトヲ尙附屬スル事業ト御認定ニナル方が、御便利デアルト云フ御趣旨デアリマスレバ、ヤハリ現行法ノヤウニシテ、サウ云フ風ナ解釋ニシテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、ドチラニ致シマシテモ、能ク皆サンノ御意見通りニ施行シテ、差支ナイコトデゴザイマス

○伊藤傳右衛門君 今精シク承リマシタガ、「コークス」製造ハ鹽ノ如キモノハ、其鑛山カラ離レテアルノハ別トシテモ、或ル、鑛山ニ至ツデハ、私ノ九州ノ方ニ致シマス、半分ハ「コークス」ヲ製造シナケレバナラヌ所ガ大分アリマシテ、坑内カラ採掘シテ出スト、其儘ニ「コークス」ニシナケレバ販路ニ困ルト云フ譯カラシテ、「コークス」ヲ目的トシテアル鑛山モ大分アリマスガ、斯ウ云フ鑛山ハ「コークス」ヲ別ニ致シマシタナラバ、隨分面倒アルマイカト思ヒマス、前申シマシタ通ニ致シマシテ、選鑛製鍊ト云フノヲ除キマシタナラバ、鹽トカ何トカ云フモノ、其鑛山カラ離タモノハ、別ニシマシテ、鑛山ノ中デアル「コークス」製造場ヲ設ケテアルノヲ、之ヲ鑛業ノ部ニ入ル、ノハ、少シ無理アルマイカト思ヒマスケレドモ、鑛山ノ中デ「コークス」ヲ製造スルモノハ、ヤハリ鑛業ノ部類ニ入レナクテハ、ソレヲ目的トシテアルニハ甚ダ困リハシマセヌカ、私ハ選鑛及製鍊ト云フノハ是非除クト云フ修正ノ方ヲ希望致シマス

○荒谷桂吉君 此一條ノ附屬スル選鑛及製鍊ト云フコトヲ削ルト云フ修正說ヲ提出セラレマシタガ、此採掘者ノ製鍊デ、買鑛ヲ目的トスル製鍊ト云フモノハ、近頃鑛業ノ發

達ト伴フテ、採鑛ト製鍊ト云フ專門ノ分業事鑛ガ行ハレテ居ル、然ルニ同ジク製鍊ノ事業ヲヤツテ、採掘權者ノ事業ハ本案ニ於テ特別ノ保護ヲヤリ、又警察法ニ於テ特別ナル制限ヲヤルト云フコトニナツテ居ルニ、共同シ一事業ヲヤリナガラ、買鑛目的トスル製鍊ト云フモノハ、本法ノ支配外デア、一般工業ト同ジク紙漉器械、或ハ紡績器械ト云フヤウナ工場ト同ジ支配ノ下ニナルト、鑛毒ナド、云フ騒キガ伴フテ居ル、是ハ一般警察法ニ於テ取締テ行クベキアラウト思ヒマスルガ、ソレハドウイフ取締ヲヤルト云フ見込カ、チヨット當局者ノ御意見ヲ伺ヒタイ

○政府委員田中隆三君 主モニ製鍊デゴザイマセウト思ヒマスガ、製鍊ノ事業ニシテ、鑛山ヲ離レテ單獨ニシテ居ルノニ付イテ鑛業法ヲ適用シナイト云フ譯ハ、實ハ此ニ鑛業法ハ時ニ其事業ヲ保護スル、特別ニ保護スル中ニモ、殊ニ目立テ保護ニ當ルベキモノハ、土地使用ノ場合デ、其仕事ノタメニ他人ノ土地ヲ使用スルコトガ出來ルト云フノガ主タル眼目所ガ鑛山ト獨立シテ仕事スル、例ハ或ル鑛業人ハ大阪デ製鍊所ヲ有ツテ居ル或鑛業人ハ東京デ製鍊所ヲ有ツテ居ルト云フヤウナ場合ニ、其製鍊所ガ大阪ト東京トカ云フヤウナ場所ノ土地マデ強制シテ、製鍊事業ニ從事スルト云フガ如キハ、稍々製鍊業ヲ保護シ過ギルコトニナル、外ノ營業トサウ云フモノ、如キハ、同一ノ待遇ヲシテ宜カラウ、唯鑛山ニ附屬シテスル仕事ニ付イテハ、イロ／＼事業上ノ利害ニ伴フコトデアリ、此鑛山ノ多クハ、東京ト大阪トカ云フヤウナ非常ノ繁華ノ土地デモナイノデ、多クハ山ノ中、原ノ中ト云フヤウナコロデ、所謂強制シテ土地ヲ使用スルト云フヤウナコトヲシテモ、多クノ場合ニ於テ格別差支ハナイカラシテ、ドウシテモ雙方ノ事情ヲ酌シテ、附屬スル事業ダケニハ、其保護ヲ及ボス、ソレカラ獨立シテ居ル事業ニ付イテハ、是ハ一般ノ營業ト同等ノ、取締ヲスル、斯ウ云フ趣旨ニナツテ居リマス、今日ニ於テ附屬シナイ事業ハ、ドウシテ居ルト云フト、ヤハリ府縣廳ノ管轄ノ下ニ警察命令ニ服シテ居ル、一般ノ營業ト同ジヤウナ取扱ヲ受ケテ居ル譯デアリマス

○平岡浩太郎君 大抵之ニ對スル議論ト云フモノハ、吾々ハ廣ク解釋ノ出來ルヤウニシテ、成ベク鑛業ノヤリ宜イヤウニスルタメニ、現行法ノ方ガ宜イト思ヒマス、其他ニムヅカシイコトモナイト思ヒマスカラ、ドウカ採決シテ貰ヒタイ、ドウデス

○委員長堀田連太郎君 ソレデハ私がチヨット意見ヲ述ベマス、御斷リヲシテ置キマスガ、委員長ガ自席デ質問ヲシ、又意見ヲ述ベルト云フコトハ、差支ナイ先例ニナツテ居リマスカラ、以後モ當席ニ於テ直チニ質問ヲ致シ、又發言スルコトモアリマセウト思ヒマスカラ、左様御承知ヲ請ヒマス、今平岡君、伊藤君ノ御發議ニ對シテ、當局者モ説明ヲ與ヘルト同時ニ、強イテ反對ハナイト云フコトモ云ハレテ居リマスガ、私ノ考ヘルトコロデハ、必要ヲ見ナイ、選鑛及製鍊ト云フコトニ限ツテ置クニ及バナ、即チ其必要ヲ見ナイト云フ理由ガ、モウ一ツ他ニアル、ソレハ此鑛業ト云フモノ、性質カラ論ジマシテ、元選鑛及製鍊ト云フ字ハ、英語ノ所謂「ドレッシング」及「メタラルジ」ト云フ字ヲ、其儘譯シタコト、了解シテ居ル、所ガ鑛業並ニ製鍊ノ事業ガ、晩近非常ノ發達ヲシマシタカラ、前ニ即チ是マデ歐米各國デ選鑛及製鍊ト云フタ、其言葉以外ノ方法ヲ以テ、現ニ鑛業ヲシツ、アリ、又製鍊ヲシツ、アルノデ、殆ド此言葉ソレ自身ガ、今ノ製鍊法若クハ選鑛法ニ不釣合ニナツテ來テ居ル次第デアツテ、例ハ電氣作用ナドガ、非常ニ此鑛業上、製鍊上ノ發達ヲ

促シテ居ルノデ、是等ノ新法ト云フモノハ、チヨット選鑛及製鍊ト云フ字ニ、包含サレナイヤウナ、モウ傾キニナツテ來テ居ルカラシマシテ、此以後モ唯單純ニ選鑛製鍊ト云フ字ニ含マレナイ方法デ、鑛物ノ利用ヲスルト云フコトデア、ルベキモノトシテ、宜シイ位ナコトニナツテ居リマスカラ、却ツテ茲デ此選鑛及製鍊ト、小サク限ルノハ、頗ル幼稚ノ鑛業時代ニハ適スルカ知ラヌケレドモ、今日及將來ニハ甚ダ不釣合ニナツテ來タ、詰リ鑛業ト云フモノ、性質上カラ、却ツテ斯ウ細カニシテ置ク必要ハナカラウト云フ、一ノ理由ヲ附ケ加ヘテ、平岡君、伊藤君ノ御説ニ付イテハ贊成ヲシテ置キマス——ソレデハ他ニ御異議ガゴザイマセネバ、先ヅ此第一條ハ即チ現行ノ鑛業條例ニアル通、試掘及採掘並ニ之ニ附屬スル事業ヲ謂フト、訂正スルコトニシテ、御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長堀田連太郎君 ソレデハ其通決シマス、第二條ニ移リマス

○横山一平君 第二條ニ此度六目ヲ増加シテ居マスナ、現行法ト比較シテ見マスト——是ハドウ云フ譯デ、此度増加シテアリマスナ、其理由ヲ承ハリタイ

○政府委員田中隆三君 御答致シマスガ、此著鉛鑛等ノ修正ハ、既ニ前議會デゴザイマシタカ、御修正ニナツテ、現行法ト變テ居リマスノハ、「タングステン」鑛ダケデゴザイマス、「タングステン」鑛ノコトハ、一昨日デゴザイマシタカ、御答ヲ致シマシヤウナコトデ、近年段々甲州地方デ發見致シマシテ、立派ナ一ノ鑛業ニ成立シ得ル見込ガ出來マシタノデ、ヤハリ鑛業ト一般ノ監督、並ニ保護ヲ加ヘル必要アリト云フ御趣旨デ、是ハ貴族院デ御修正ニナツタノデゴザイマス、貴族院ノ委員會デサウ云フ御修正ガ出テ、政府ニ於テモ同意致シテ、此度ノ法案ニハ附ケ加ヘテ出シマシタノデアリマス

○大野龜三郎君 チヨット政府委員ニ御尋ネシマスガ、此「タングステン」ト云フモノヲ入レマシタ以上ハ、輝水鉛モ入レナケレバ、權衡上不釣合ト考ヘマスガ、其邊ハドウ云フ譯デスカ

○政府委員田中隆三君 輝水鉛鑛ニ付イテハ、當局者ニ於テマダ「タングステン」鑛程、有望ナル鑛業トシテ成立ツヤウナルモノガアルト云フ見込ガ——見込ト云フヨリ、取調ガ着イテ居リマスノデ、脱ケマシタケレドモ、既ニ諸君ノ御調査濟ニナツテ居リマスモノノ中ニ、立派ナ鑛山トシテ成立ツヤウナモノガ、我國ニアルト云フ御見込デゴザイマスレバ、決シテ加ヘマスルコトニ付イテハ、異議ハゴザイマセヌ

○持田若佐君 私モ承ハリマス、輝水鉛ト云フモノハ、ナカ／＼各地ニ出テ居リマスヤウニ聞イテ居リマス、斯ウ云フ幸ヒニ此法律ヲ改正スル場合デゴザイマスカラ、コ、デヤハリ輝水鉛ト云フモノヲ一項加ヘテ置キマシテ、將來「タングステン」ノヤウニ、適當ノナニガ出マシタラ、ヤハリ此法律ノ下ニ保護スルコトガ、至極宜カラウト思ヒマスカラ、私ハ之ニ輝水鉛ヲ加ヘルコトノ動議ヲ提出致シマス

○大野龜三郎君 私が聞クトコロニ依リマシテモ、實ハ今日デモ所在地ハ、此「タングステン」ヨリ此輝水鉛ノ方が廣イヤウニ承知シテ居リマス、唯今ノ發議者ノ通ニ同意シテヤハリ此中ニ加ヘタ方が宜シイト考ヘマス、之ヲ加ヘルコトヲ贊成致シマス

○委員長堀田連太郎君 ソレデハ別ニ御異議ガゴザイマセヌ様デゴザイマスカラ、輝水鉛ヲ此中ニ加ヘルコトニ致シマス、尙ソレヲ何處ヘ入レマスナ、其入レ場所ト、茲ニ政府カ

ヲ提出サレタ此案デハ、「タングステン」ト假名デ書イテアリマスガ、是モ何トカ相當ノ名ヲ付ケ得ラレ様ト思ヒマス、此名ヲ付ケマスコトヲ、委員長ニ御任セテ願フデ、大體ニ付イテ御決定ニナツテ於キマシタラ、如何デゴザイマスカ

(「異議ナシ」ト呼ブモノアリ)

○委員長堀田連太郎君 ソレデハ輝水鉛ヲ是ニ入レルコトニ極リマシタ、尙「タングステン」鑛ト云フ假名ヲ止メテ、相當ナル文字ニ直シテ、名稱ヲ下スコトニ致シマス、ソレデハ第四條ニ移リマス

○平岡浩太郎君 此三條ノ中ニ廢鑛ヲ含ムト云フコトガアルガ、是ハ先達モ田中君ノ御面倒ヲ煩ハシタコトガアツタ問題デガ、アノ「ズリ」トカ何トカ云フコトヲ、云フデ來タコトガアツタガ、ア、云フモノヲ含ムデ居ル積リデアリマスガ、廢鑛ハ……

○政府委員田中隆三君 此三條ニ付イテ、昨日チヨット平岡委員ノ御闕席中デアツタガ、申上ケテ置キマシタガ、御質問ノ通、昔ハ製鍊技術ニ適合シナイタメニ、棄テ、アル鑛物、竝ニ製鍊シタ後トノ滓、ア、云フモノデ、ヤハリ鑛物殘滓ノ様ナ狀況ニアルモノ、ソレ等ノモノヲ皆含メタ意味デ、廢鑛ト云フ言葉ヲ用非マシタ、廢鑛ト云フ言葉ガ適當カ不適當カ甚ダ文字ノ選定ニ苦シマスガ、幸ニ元ノ鑛法、日本鑛法ト云フ法律ノ中ニ、廢鑛借區ト云フ文字ガゴザイマシテ、長イ間慣用セラレテ居リマスカラ、其儘其言葉ヲ茲ニ移シタノデアリマス

○平岡浩太郎君 是ハ實際ニ於テハ、私ナドハ非常ニ此問題ニ付イテ困難ヲ感ジツ、アルコトデアリマスガ、假令私ノ金鑛内ニ、昔ノ人が掘ツタ廢鑛及「ズリ」ト云フヤウナモノガアルト、ソイツハ其地主ノ所有ニ歸スルコト云フ名義ノ下ニ、勝手ニ其處ヘ製鍊場ヲ建テタリ何カシテ、非常ニ妨害サレタコトモアツテ、先達モ鑛山局デ、監督者ト相談ヲシタリシテ、ナカノ面倒デシタガ、監督省ニ心配ヲシテ貰フデ、兎モ角ソレヲ勝手ニ遣ラレヌヤウニ、今デハナツテ居リマスガ、此廢鑛ヲ含ムト云フ五字ヲ、此五箇條カラ削テ貰フト、大變宜イノデ、サウシナイト、實ハ鑛山ヲヤルトコト云フモノハ、廣イ區域ノ借地ヲ有ツテ居テモ、鑛業スル場所ハ谷合トカ、少シノ平地トカ、サウ云フ一區域ノ所ニ極ルカラ、ソヤツラ横ベラカラ、脇ノ所ニモツテ來テ、地主ガ勝手ニ仕事ヲセラルト、非常ニ困ル、之ハヤハリ此五字タケヲ除ケテ貰ヒタイト、私ハ考ヘマス

○委員長堀田連太郎君 チヨット平岡君ニ御尋ネシマスガ、除クトナルト、詰リ地主ノ所有ニナルト云フコトニ歸着シマスガ、此意味デスカ、廢鑛ヲ含ムトアリマスカラ、地主ノ所有デナク、即チ鑛業權者ノモノニナルデス

○平岡浩太郎君 ソレナラ宜シウゴザイマス、這入ツテ居ル方が宜イノデ……

○大野龜三郎君 御尋ネシマスガ、實ハ今日デ此殘滓ヲ採リマスダメニ、砂金採取ノ名義ノ下ニ出願スルモノガアルト承テ居リマスガ、サウ云フコトハゴザイマスカ

○政府委員田中隆三君 御答致シマスガ、砂金採取ノ名義ヲ以テ、此或鑛山ノ廢鑛デゴザイマスガ、主モニ現ニ仕事ヲシテ居ル鑛山ノ廢鑛、サウ云フモノヲ得ントシテ、紛擾ヲ起シタ例ハ、鹿児島地方ニ澤山アリマス、ソレハ結局現ニ鑛業ヲシテ居ル人ニ、ヤハリ砂鑛ノコトニ採取等ノ權利ヲ與ヘマシテ、サウシテ紛擾ハ納メテ居リマス云フノハ、多クハ其鑛山ハ山ノ山ニゴザイマス——山ノ麓ノ高イ所デゴザイマス、其ズツ川尻デゴザイマシテ、

其鑛山カラ段々鑛石ガ缺ケ落チ或ハ流レテ、川ノ中ヘ溜ツテ居ルノデゴザイマス、ソレヲ採ルノニ、鑛業人ハ未ダ自分ノモノデアルト主張シ、又他人ガソレヲ自分ノモノニシヤウト云フヤウナコトガ、イロノ／＼起リマシタガ、幸ニ此砂鑛採取ノ權利ハ、必ズ出願者ニ許サナケレバナラスト、極メテ居ルノデ、事情ヲ酌シテ、尤モ縁ノ近イ鑛業人ニソレヲ許可シマスルト云フコトニシマシテ、サウシテ紛擾ハ納メテ居リマスガ、紛擾ノアリマシタコトハ、御尋ネノ通ノ事實デゴザイマス

○大野龜三郎君 尙御尋ネシマスガ、若シ今採掘シナイ舊鑛ノ下ニ、廢鑛ガアリマシテ、砂金採取ノ名義デ出願シタ時分ニハ、其砂鑛ノ殘滓等ノ區別ヲ見定メルト云フノハ、困難ノヤウニ思ヒマスガ

○政府委員田中隆三君 砂鑛ト云フ或場所ニ、鑛物ガ砂鑛デアルカ、廢鑛デアルカト云フコトニ付イテハ、大抵事實上カラ區別ガ出來得ル見込ミデアリマス、或特殊ノ場合ニハ困難ヲスルヤウナコトガ、アルカモ知レマセヌケレドモ、先ヅ差支ナク、法律ノ運用ガ出來ルト云フ考ヘテゴザイマス

○大野龜三郎君 何カキツカリ爭ヒノ起リマシタ時分ニ、區別ヲスル途ガアリマスモノデアリマスカ

○政府委員田中隆三君 是ハ全ク技術上ニ屬スルコトデゴザイマスカラ、詰リ技術者ヲ信認シテ、其技量ニ信賴スルヨリ外ニ、致方ガゴザイマセヌノデス

○荒谷桂吉君 廢鑛ト云フノニ、所謂「カラミ」ガ澤山アリマス、アレ等モ廢鑛ト云フ中ニ含ムノデスカ

○政府委員田中隆三君 廢鑛ト云フ内ニ「カラミ」モ含ム積リデゴザイマス、併ナガラ「カラミ」ナリ或ハ廢物ナリノ存在ノ狀況ニ依ツテ、全ク一種ノ別種ナモノトシテ、一ツノ財産トシテ、地主ガ保存スルコトガアルヤウナ狀況ニアルモノハ、固ヨリ此内ニ這入リマセヌガ、多ク爭ヒガ起ツタリスル場合ハヤハリ立派ナ外見上、見マシタコロデ、少シモ區別ノ付カナイ普通ノ山デ、甚シキハ立派ナ森林ガ其上ニ生ヘテ居ル、ソレニ段々其下ニ鑛物アルコトヲ、ト付ケ出シテ掘ツテ見ルト、ソレハ或ハ昔シノ「カラミ」デアルトカ、或ハ「棄石」デアルト云フモノデ、而シテ其内ニ鑛物ガ含ンテ居ツテ、仕事トシテ成立チ得ル今日ノ技術カラ、仕事トシテ成立チ得ルモノガ往々ゴザイマス、サウ云フヤウナモノヲ主ニ申スノデ、ソレカラ又昔ノ鑛山舊鑛ノ坑ノ中ニ、段々詰メテ居ルモノモゴザイマス、サウ云フモノモ固ヨリ此中ニ含ミマス積リデゴザイマス

○荒谷桂吉君 サウシマスルト、之ヲ廣ク解釋シテ、未ダ採掘セザル鑛物、即チ地中ニ埋没シテアルモノハ、國ノ所有トシテ、地表ニ散在シテ居ルモノハ、地主ニ屬スル、斯ウ解釋シテ宜シイノデスカ

○政府委員田中隆三君 地表ニ出テ居ルモノハ、總テ地主ノモノト云フ廣イ言葉モ使ヒ兼ネマス、ト申シマスルノハ、此鑛業條例ノ二條ニ規定シテアリマスル鑛物デモ、立派ニ地上ニ現ハレテ居ルモノガ澤山アルノデ、殊ニ燐鑛ノ如キ或ハ滿俺等ニ致シマシテモ地表ニ現ハレテ居ルモノガ、毎々ゴザイマス、或ハ又銀鑛ノ如キニ至ツテモ、マルデ銅石ト同ジヤウナ風ニ、地表ニ立派ニ現ハレテ居ルモノモゴザイマスノデ、地表ニ現ハレテ居ルモノハ地主ノ物デアルト云フ判斷モ致シ兼ネマス、併ナガラ唯御參考ニ申シ上ケ置キマスル

コトハ、此地主が利用シテ居ル地表ニアルトコロノ鑛物、地主が土地トシテ利用シテ居ル其土地ノ上ニアル鑛物ヲ採リマスルトキニハ、土地ノ利用ヲ害シマスカラ、ヤハリ相當ノ土地ノ利用ヲ害スル程度ニ於テノ賠償ハ、シナケレバナリマセヌ、後ノ分ノ土地使用ノ規定ニ據ッデシナケレバナリマセヌ、鑛物其物トシテノ所有權ハ、ヤハリ鑛業人ノ所得トスルノデ……

○神前修三君 唯今トナタカ御尋ネニナリマシタ「カラミ」ノコトデゴザイマス、モウ少シハッキリ承リタイ、之ハ山根ニ大變澤山積デゴザイマス、既ニ木デモ生ヘル、マア森林ノ如クニナ。テ居ルモノハ宜シウゴザイマス、小サナ小山ノ如クニナッデ「カラミ」デ積上テアルヤウナモノガ澤山アル、サウシテ其土地ハ私有山ト云フヤウナモノデ、非常ニ争ヒガ起ルコトガ屢々アル、此處ノ解釋デ、ハッキリ極メテ置キタイカラ、今一應其邊ヲ伺ヒタイ

○政府委員田中隆三君 之ハ事實問題ニ依ッデ判斷ヲ致シマスルノデ、言葉ノ上デ區別ヲ立ッテ、ハッキリ申シ上ゲルコトニハ、甚ダ困難致シマスガ、尙他ノ方面カラ先程來申シ上ゲタコトヲ敷衍致シマスレバ、地主ガ或一ツノ財産トシテ、其物ヲ自分ガ占有シテ居ルト云フヤウナ有様ニアルモノ、例ヘバ今ノ御質問ノ如キ「カラミ」トシテ、何時カソレヲ利用セントスル、殆ド占有ノヤウナ姿デアル、何人ガ見テモ分カル、其處ニヤン積デアル、ソレヲ或時ニ利用セントシテ居ルト云フヤウナ狀況ニアルモノハ、固ヨリ其權内ニ屬スルノデゴザイマス、普通ノ所謂鑛物ガアルヤウナ狀況ノアルモノハ、大抵三條ニ這入ルト云フ位ノトコロデ、一ツ御判斷ヲ願フヨリ外、仕方ガアリマセヌ

○神前修三君 私ハ唯今「カラミ」ノコトニ付キマシテ、モウ少シ適切ナ實地ノ狀況ヲ御話シ致シマシテ、而シテ政府委員ノ御見込ミヲ承リタイと思フ、此昔シ働キマシタ山デ而シテ「カラミ」ガ澤山積デアル所ガアリマス、而シテ其山ノ所有者ガ、私有山トシテ自分ガソレヲ自分ノ物ノ如クニ使用シテ居ルカト云ヘバ、自分モドチラノ所有トモ分ラヌト云フヤウナコトデカラニ、手ヲ入レツケナイモノガアルノガ一ツソレカラモウ一ツハ、近頃官林ノ下戻シカ何トカデ、大キナ山下戻ス、サウスルト其山ニ非常ニ澤山ナ「カラミ」ガ積デア、サウ云フヤウナ種類ハ、全舛國ノ所有ト見ルガ當然カ、其地主ノ所有ト看做スノガ當然カト云フ解釋ニ付イテ、ハッキリ承リタイノデス、之ハ隨分紛擾ヲ來スコトガ屢々アルノデ……

○政府委員田中隆三君 丁度御尋ネノ如ク、或ハ官林ノ中ニ「カラミ」ガアル、ソレヲ山林ノ方デハ林產物トシテ、取ツタ者ニ對シテ、林產物ノ竊盜ノマア告發ヲシタ、所ガ裁判所ハ、ソレハ山林法ノ違反デナイト云ッデ、受理シナカッタトカ、或ハ又モウ一ツノ例ノ御話シノ如ク、或私有山ノ中ニ「カラミ」ガ何時ノ頃ニカ棄テ、アル所ノ「カラミ」ガ澤山ニ殘ッテ居ルト云フヤウナコトガアッデ、而シテ往々紛擾等ノ起ツタ例モ記憶シテ居リマス、併ナガラソレ等ノ場合ニ付イテ、是迄調ベマシタ例ニ依リマスルト云フト、大抵狀況ニ依ッデ其判斷ガ付キマスルノデ、ヤハリ鑛山ト世間ノ人ガ認メルヤウナ有様ニアルカ、或ハ全ク鑛山以外ノ山トシテ、其土地ノ所有者ガ權利ヲ主張スルヤウナ狀況ニアルカト云フコトハ、大抵其場所ノ存在ノ模様ニ依ッデ、判斷ガ出來ルト、斯ウ見當ヲ付ケテ置キマス、將來モサウ致シマスル積リデゴザイマスガ、如何セン唯今ノ法律ニハ廢鑛ト云フ事ニ付イテ、全ク文字ガ關ケテ居リマスルカラ、廢鑛デアリサヘスレバ、ドンナ狀況デアッデモ、皆土地所有

者ノ權利デアッデ、鑛業人ノ權利デナイト云フヤウナ議論ガアッデ、ソレハ今日困ッデ居ル問題デゴザイマスカラ、其問題ヲ解決シタイト云フ趣旨デ、此廢鑛ヲ含ムト云フ言葉ガ、這入ッデ居ルノデゴザイマス、デゴザイマスカラ、ドウモ實際其處ニ存在シテ居ル狀況、ムヅカシイ場合ニ付イテハ、實際ノ狀況ヲ見テ判斷ヲ付ケルヨリ致シ方ハナイ、ソレ以上ノ御答ハ致シ兼ネマスルノデ、今日デモ現ニ地主ガ自分ノ全クノ權利トシテ、採ッデ居ル廢鑛モゴザイマス、又鑛業人ハ鑛業人ノ權利ニ屬スルモノトシテ、仕事ヲシテ居ル者モゴザイマス、鑛山ノ坑ノ中ニアルモノハ、固ヨリ皆鑛業人ガ採ッデ居リマスノミナラズ、坑ノ中ニナイ地表ニアリマスル物デモ、ヤハリ鑛山ノ許可ヲ得テ、鑛業ヲシテ採ッデ居ルノモゴザイマス、實例ヲ申シマスルト雙方ニアルノヲ、ドウモ實際ノ狀況カラ、將來過チノナイヤウニ、區切リヲ立ッテ往クト云フ考ヘデゴザイマス、イヅレモ不十分デゴザイマスカラ、先刻申シ上ゲマスヤウニ、ドウモ適切ナ言葉モゴザイマセヌシ、却ッテ新ラシイ言葉ヲ拵ヘテ、益々疑ヒヲ深クスルヨリハ、舊來カラアッタ日本鑛業法ノ言葉ヲ借りテ來タ方ガ宜シイト云フノデ此廢鑛ト云フ字ヲ附ケマシタ

(「モウ第三條ハ私ナドハ異議ハアリマセヌ」ト呼フ者アリ)

○委員長堀田連太郎君 ソレデハ私が少シ意見ヲ述ベマス、此廢鑛ヲ含ムト云フ五字ハ、簡單デアリマスガ、是ハナカノ關係ノ廣イ、實ハ問題ニナルノデ、今當局者ノ説明デモハッキリシタ分界ガ付カヌト云フ、事實其通ナンデ、ソレデ實ハ是マデニ法律ハ現行法デアレバ、當局者ノ適宜ノ處分ガ出來マスケレドモ、却ッテ廢鑛ヲ含ムト云フ五字ヲ、茲ヘ新規ニ入レルガタメニ、彌分界ヲ明カニシテ置カケレバナラヌト云フ次第ニナッデ、所デ分界ハ實ハ明カニ事實ニ於テ出來ナイ、之ハナカノドウモ其ムツカシイ實ハ問題ダラウト思フ、先ッ廢鑛ト云フ字カラシテ、不思議ナ字ナンデ、日本鑛業ニ在ッタ廢鑛ト云フモノモ、用井來リノ唯其儘ヲ襲用シタニ過ギナイノデ、此字自身頗ル明瞭ヲ闕イデ居ル、鑛山社會デ云フハ廢鑛ヲ居ル鑛山、廢鑛ヲ居ル鑛山ニモ廢鑛ト使ウ、鑛物ニモ又廢鑛ト使ウ、又鑛石デアル又「カラミ」ヲモ廢鑛ヲ含マセル、廢鑛ト云フ文字ソレ自身ガ明瞭デナイ、ソレカラ又實地ニ就イテ見ルトイロノ場合ガアル、今山林中ニモウ數百年經ッタヤウナ大木ノ生ヘテ居ル下ニ、アル「カラミ」ノ如キハ、之ハモウ其土地ノ所有者ノ權利物トハ見ラレナイ、國ノ當然所有ト見テ差支ナイ、併ナガラ又或場合ニハ、現ニ此土地所有者ノ殆ド權利内ノモノニ屬シテ居ル如キ場合ハ多々アル、之ハ政府委員ノ説明ニモアリマス通、其間ノ分界ガ詰リ付カナイ、サウナッデ來ルト云フト、廢鑛ヲ含ムト云フ字ヲ、茲ヘ挿ンダガタメニ、實際ノ取扱上ニハ却ッ紛擾ヲ來シハシナイカト云フ虞ガ一面アルト云フデ、マルデ無制裁ノモノニシテ置ケバ、實際土地所有者ノ權利内デナイト云フモノニマデモ、先刻平岡君ノ實際ノ御話シデアッデ通、イロノ苦情ヲ持出スト云フコトニナレバ、鑛業者タルモノハ非常ニ迷惑スル、デ雙方ノ場合ヲ茲デ湊合シテ考ヘテ見マス、幾ラカノ分界ヲ立テルト云フコトノ必要ヲ認ムルト同時ニ、唯廢鑛ヲ含ムト云フ五字デハ、ドウシテモ其意味ヲ貫クコトハ出來マイ、サウシマスルト、何トカ此法文ヲ一ツ改正シタイト思ッデ居リマスルガ、マダ實ハドウ云フ法文ニ改正シテ宜カラウカ、自分トシテハ案モ出來テ居リマセヌ、デアリマスカラ大體ノ意味ニ於テハ、政府委員ノ説明シタル點ヲ諒シテ、假ニ茲デ決定シテ置キマシテ、相當ナ時機ヲ見附ケテ、一ツ改正スルト云フコトニ致シタ

ラバ、ドウデアアラウカト私ハ考ヘマス

○藤金作君 私ハ少シ都合アリテ、唯今出マシタ、今三條ノ此廢鑛ト云フコトガ議題ニ
ナラデ居ルデゴザイマス

○委員長堀田連太郎君 左様デゴザイマス

○藤金作君 少々私意見ヲ述ベタウデゴザイマス

○委員長堀田連太郎君 宜シウデゴザイマス

○藤金作君 遅クナリマシテ、今ノ御説ハ伺ハズニ居リマシタケレドモ、之ヲ取ッテ除ケル
ト云フコトモ、政府委員ノ御説ヲ聞ケバ、事實差支ヘヤウト存ジマス、又廢鑛ト云フ廢

ノ字モ、餘リ穩カデナイノデ、故ニ私ハ甚ダ其文字ニハ至テ暗イモノデゴザイマス、ケレド

モ、一應ノ考デハ、此廢字ヲ手扁ニ非ノ字ヲ書イタ、排斥ノ排ノ字ヲ用ヰテ、文字ヲ變

ヘナイ、此原案ノ通置イテハ如何デアアラウカト考ヘマス、今委員長ノ假ニ決定シテ置カ

ウト云フ意味ハ全ク之ヲ削ルト云フ意味デゴザイマスルカ、之ヲ適當ノ文字ヲ考ヘ出ス

マデ、單ニ之ハ未決ニ置カウト云フ意味ナノデゴザイマスルカ、幸ヒニ此排斥ノ排ノ字ヲ入

レラレテ、原案ヲ存スルコトニナラデハ、如何デアアラウカト考ヘマスガ……

○委員長堀田連太郎君 チョット御尋ネシマスガ、廢ハ……

○藤金作君 排斥スルト云フ、手扁ニ非ノ字デス

○委員長堀田連太郎君 左様デスナ、ソレデモ少シ明瞭シマセヌナ……

○藤金作君 政府委員ニ御尋ネシマスガ、廢物ノ廢ノ字ト、暫ラク取除レテ居ッタト
云フ……

○委員長堀田連太郎君 藤君ニ申シマスガ、アナタノ後段ノ御尋ネノ通ノ考ナンデ、
ドウモマルデ取ッテシマウコトモ面白クナイ、サウト云ッテ此廢鑛ヲ含ムト云フモノガ、甚ダ

穩當デナイ、意味ガ明瞭シナイ、デモウ少シ宜シイ字ガアルマイカト思ッテ居リマス、今考ガ

附キマセヌカラ、未決ニシテ置キタイト思フノデ……

○藤金作君 未決ト云フコトナレバ、委員長ノ御意見ト、私モ同感デ……

○坂本金彌君 此第三條ノ唯今ノ廢鑛ヲ含ムト云フ問題デゴザイマスガ、私ハドウカト
云ヒマスレバ、ヤハリ此廢鑛ヲ含ムト云フコトデ宜カラウト云フ、政府案ヲ贊成スルモノデ

ゴザイマス、併シドウ考ヘマシテモ、此廢鑛ト云フコトニ付イテハ、恐ラクハ宜イ文字ハ出

マイト思フ、ドウモ今マデ長ク傳ッテ居ルノデ、此上或ハ考ヘテモナイノカ知ラヌト思ヒマス、

ソコデモウ一ツ私ノ考ヘニアリマスルノハ、先カラ段々御尋ネモ出テ居リマシタ「カラミ」デ

ゴザイマス、「カラミ」ト云フヤツト、此廢鑛ト云フ、俗ニ云フ「ズリ」ト云フヤツトノ區別ハ、事

實デハ着イテ居ル、文字ノ上カラ嚴格ニ云ヘバ、廢鑛ノ中ニ鑛滓モ含ムカモ知レヌ、併

ナガラ廢鑛ト云フ中ニ鑛滓ヲ含ムト云フコトハ、私ハ穩カデナイト思フ、何故カト云ヘ

バ、此鑛滓ト云フモノハ、鑛屑ト云フ名ヲ付ケルモノデハアルマイト私ハ思フ、ソコデ私ハ

廢鑛及鑛滓ヲ含ム、斯ウ云フコトニシタウデゴザイマス、ソレカラモウ一ツ、其堀田君ノ説ニ

付イテ申シ上テ置キタイノデスガ、何カ之ヲ少シ甘ク能ク分カルヤウニセンカト云フ御議

論モアルヤウデゴザイマスガ、サウ致シマスレバ、ドウスルカト云ヘバ、詰リ幾分か説明ヲ附

ケルヨリ外ニ、仕方ガナイ、全軀ハ法律ノ上デ、法律ノ成文ニ説明ヲ付ケルト云フコトハ

尤モ立法ノコトカラ云フテハ宜クナイノデ、若シ説明ヲ付ケルト云フナラバ、トモ此法律

ト云フモノハ、種々ナ議論ガ種々ニアルノデゴザイマスカラ、完全ノ説明ト云フモノハ付ク

モノデハナイ、説明ヲ付ケタメニ却ッテ變デアリマスカラ、ソレヨリハ寧ロ少シボヤリシテ

居ル嫌ヒハアルカ知ラヌケレドモ、他日爭論ノ起ッタト云フ場合ニハ、之ハ司法官ノ判定

ニ一任スルヨリ仕方ガアリマセヌカラ、ヤハリ趣意ハ此通り「廢鑛及鑛滓ヲ含ム」斯ウ云

フコトニシタウデゴザイマス、デ「鑛滓」ト云フ字ヲ挿入スルト云フコトヲ、茲ニ提出致シマス

○委員長堀田連太郎君 坂本君ニチョット御尋ネフシ併セテ私ノ先刻云フタ意見ヲ

敷衍シテ置キマス、唯字ノ可笑シイト云フバカリノ意味デナイ、其廢鑛スル區分ガ付カ

ナイ、何處マデノモノガ國ノ所有ト見做サレ、何處マデノモノガ土地所有者ノ所有ト見

做サレルカ、其分界ガ頗ルシ惡イト云フノガ、未決ニシテ置キタイト云フ私ノ精神デス

○坂本金彌君 御精神ハ能ク分ッテ居リマス、私ノハ土地ノ分界ヲ付ケルコトニナレ

バ、法律ノ解釋ニナルカラ、法律ノ解釋ヲ付ケルコトハ宜クナイト云フノデ、ソレダケヲ述

ベテ置キマス、御精神ハ能ク分ッテ居リマス

○委員長堀田連太郎君 ソレハドウ致シマスガ、坂本君カラ廢鑛竝ニ鑛滓ヲ含ム

トスル、詰リ鑛滓ト云フ二字ヲ此中ニ入レテ置キタイト云フ、御説ガ出テ居ル、

○藤金作君 坂本君、實地家デモアリ、又實業家デモアリ、私モ段々考ヘテ見タトコ

ロ、至極宜カラウト思ヒマス、私ハ此處デ御決定ニナルナラバ、坂本君ノ修正意見ニ贊成

シマス

○伊藤傳右衛門君 坂本君ノ説ニ贊成シマス

○委員長堀田連太郎君 坂本君ニ御尋ネシマスガ、貴君ノ修正意見ハ斯ウナルノデス

ナ、「未ダ採掘セサル鑛物廢鑛ヲ含ム」トアルノヲ、(廢鑛及鑛滓ヲ含ム)トスル……

○坂本金彌君 左様デス

○委員長堀田連太郎君 ソレデハ坂本君ノ修正説ニ付イテ、決ヲ採リマスガ、別段御

異議ガナケレバ、決定シタイモノト思ヒマス

(「異議ナシ」異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○委員長堀田連太郎君 ソレデハ第四條ニ移リマス

○金子元三郎君 四條ノ二項ノ中ニ鑛業權者ハ鑛區ニ於テ其許可ヲ受ケタル鑛物

ヲ掘採シ「トアル、此鑛業法案ノ中ニ掘採ト云フ文字ガ、此處ト九十五條トニアル、サ

ウシテ他ノ方ニハ掘採ト云フ文字ガ現レテ居ル、掘採ト云フ文字ト掘掘ト云フ文字ヲ、

別ケテ御使ヒニナツタコトハ、ドウ云フノデスカ

○政府委員田中隆三君 此鑛物ヲ掘リ採リマスル働キニ付イテハ、總テ掘採ト云フ字

ヲ使ッテ居リマスノデゴザイマス、唯掘採權、所謂今日ノ特許權ノ事ヲ稱シテ掘採權ト稱

シテ居リマス、試掘權及掘採權、或ハ、試掘權者掘採權者ト云フコトハ、言ッテ居リマス

ガ、試掘權者或ハ掘採權者ハ、鑛物ヲ掘採ルモノハ、之ヲ掘採ト稱スル、同ジ掘採ヲ採

掘或ハ掘採ト云フコトハゴザイマセヌ積リデゴザイマス

(「異議ナシ」異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○委員長堀田連太郎君 ソレデハ第四條ニ付イテハ、別ニ御意見モアリマセヌバ、原

案通り決定シタルモノト認ママス、第五條ニ移リマス、

○藤金作君 第五條ハ質問會ノトキニ當局大臣ニ質問致シマシタ、ソレハ第十六議

會ニ提出セラレタキニ、委員會ハ此第五條ヲ削除シタト思フ居リマス、而シテ其結果ハ内外人ニ均シク鑛業權ヲ許スト云フ意味ニナルノデ、當局大臣ニ於テモ議會ニ於テ、之ヲ外人ニ、内地人同様ニ許スト云フコトニナレバ、政府ハ不同意デナイト云フコトヲ、御述ベニナタト思フ居リマス、第五條ハ削除スル意見ヲ提出致シマス

○坂本金彌君 私ハ原案ヲ贊成シマス、マダ藤君ノ御説ニ贊成者モアリマセヌヤウデスガ、贊成者ガ有リマスレバ、私ハマダ述ベマス

○委員長堀田連太郎君 藤君ノ御説ニ付イテ御贊成者ハ有リマセヌカ

○金子元三郎君 贊成シマス

○坂本金彌君 私ハ過日モ當局大臣カラ御説明ノアリマシタヤウニ、他ノ法律トノ權衡トモ、之ヲ外國人ニ許スコトニナレバ、權衡ガ取レマセヌト云フノガ、一ノ理由デアリマス、殊ニ今日外國人ニ鑛業權ヲ許スコトニ付イテハ、日本ノ有様ハドウカト云フト、鑛業ハマダ最モ發達シテ居ラヌ、最モ幼稚ナ時代デアリマス、又資本カラ申シマシテモ、鑛業ニ本當ニ資本ヲ投ズルト云フ人ハ極ク少イ時デアリマス、從ッテ其結果カラ致シマシテ、日本ノ鑛山價格ハドウカト云フト、最モ廉イノデス、日本ノ鑛山程廉イ所ハナイ、鑛山ノ價格ハ國ノ文明ノ程度ヲ代表シテ居ルノデアル、野蠻ノ國ヘ行ク程廉イ、最モ開ケナイ土地程鑛山ノ相場ハ廉イノデ、人文ノ發達シテ居ナイコロハ、タゞノ場所ガ澤山有ル、日本モ餘程進歩シタコトハ、進歩シタガ今日最モヤカマシイ問題ニナツテ居ル試掘ニ課税スルノハ、外デアルト云フ問題ガ生ジテ居ルノモ、多クハ採掘スルトコロノ資本ノ裕カニナイタメニ、試掘ノ見込ガ十分立ツ、立タヌト云フヨリハ、寧ロ資本ノ闕乏ノタメニマダ十分採掘ヲ能ウ致シマセヌト云フヤウナ事ガ、アラウト思フ居リマス、是ヲ此際外國人ニ採掘權ヲ與ヘルコトニナツテ、沿々トシテ外國ノ資本ガ、日本ノ鑛山ニ流レ込ムヤウナコトガアツタナラバ、今日ノ事ヲ言ヒマスレバ、餘程日本ノ鑛物ガ出テ有難イカ知レマセヌガ、長クシマスレバ、是ヲ多ク外國人ニ與ヘルコトハ、私國家百年ノ大計トシテ、寒心セネバナラヌコト、思フノデ、今日ハマダ外國人ガ日本ノ鑛物ヲ採掘スルコトニ付イテハ、不便利ヲ與ヘテ置クコトガ、日本ノ國情トシテ宜イノデアリマス、鑛物モ無盡藏デハゴザイマセヌカラ、取ラレテシマツテハ仕方ガ無い、埋没シテ居デモ、モウ少シ日本ノ物ト致シテ置キタイ、今日ハ殊ニ外國人ニ採掘權ヲ與ヘルコトハ、良クナイト思ヒマスカラ、政府案ヲ贊成致シマス

○金子元三郎君 日本ノ鑛山業ノ現時ノ情態ニ付イテノ御見込ハ、同一ノ考ヲ有ッテ居リマス、又政府ノ當局者デハ、一面ニサウ云フ御考モ有リマセウガ、又一面ニサウデナイト云フ御考デアラウ、絶對反對デナイ、同意シテ宜イト云フ御答ガアツタノハ、サウデアラウト思ヒマスガ、坂本君ノ御説ニ、未開ノ國程鑛山ノ價ガ廉イ、現在ノ日本ノ鑛山ノ價格ガ、廉イト云フコトヲ御述ベニナツテ居リマスガ、政府當局者ノ御趣旨ハ、試掘ニ課税シテ試掘業者ヲ壓迫シテ、成ベク止メサセルト云フ方針ハ、實際業ヲ執ル者ガ、ソレヲ買入レテ業ヲ行フニシテモ、價ガ高過ギルト云フ御見込デアラウト思ヒマス、併シ外國人ニ鑛業權ヲ許スガタメニ、坂本君ノ御心配ノヤウナコトニハナラヌト思ヒマス、以前條約改正ノトキニモ、外國人ニ土地所有權ヲ許スト云フ際ニ、イロ／＼反對ノ聲ガアツテ、其反對ノ聲ニハ、今坂本君ノ鑛山ノ權利ヲ外國人ニ許セバ、總テ外國人ノ手ニ占メラレテシマウデアラウト云フ杞憂ヲ以テ、反對シタ人モアリマシタガ、此節ハ土地所有權スラ、與

ヘテ宜イト云フコトヲ耳ニスル、世間ノ趨勢ガサウナデ居ル、内地雜居ヲ許シタナラバ、外國人ガ何處ヘモ來テ、優勝劣敗ノタメニ、日本人ハ片隅ニ押詰メラレテシマウト云フ心配ヲ抱イタ人ガアリマシタガ、内地雜居ヲ許シタ曉ニ、ソノナコトハ無い、是等ハ總テ其事業ノ利害ニ基イテ起ル事デアツテ、鑛業權ヲ外國人ニ許スコトニナツデモ、直チニサウ云フ事ニ必ズ成リハセヌト、本員ハ思ヒマスノデ、藤君ノ御趣意ニ贊成シマス

○藤金作君 私ガ第五條ノ削除スル説ニ付イテハ、既ニ一昨年殆ド滿場一致ニテ、可決シテ居タト存ジマスガ、其時マデハ政府當局者ハ、此案ニ對シテハ如何トモ答ヘル能ハザル時期デアル、即チ外國人ニ鑛業權ヲ許スヤ許サヌヤト云フ、内閣ノ定義ハ少シモ進ンデ居ラヌ次第デアルト云フノデ、其時委員會ハ彼ノ十六議會ニ、此案ヲ議スルコトヲ中止シタ、一ノ理由ニモナツテ居ル、議會ガ切迫ノタメニ審議シ終ルコトガ出來ヌノミナラズ、鑛業ヲ外國人ニ許スト云フ點ノ如キハ、内閣ニ於テモマダ定義ガナイ場合デアル故ニ、此委員會ハ是ニ止メテ次ノ議會ニハ政府ハ十分方針ヲ定メテ、提出セラル、ヤウニト云フ、條件ヲ付ケテ十六議會ハ中止シタ、而シテ議會ハ二年程解散ノタメニ、通常議會ヲ開カナカッタデアリマス、既ニ此二十一議會ニ於テ其初メニ當局大臣並ニ大藏大臣モ、殊更ニ出席セラレタコロニ於テ、改メテ質問シタ點ニ進ンタル御答ニハ、ナツテ居ナイト云フコトデアリマス、而シテ坂本君ハ未ダ其時期ニアラズト云ハレル理由ヲ伺ヒマスレバ、凡ソ四點デアッタト思ヒマス、第一ハ未開ノ國程、鑛業ノ價格ガ廉イ、ソレカラ資本ガ至ッテ薄弱デアル故ニ、鑛業ガ開ケナイノデアル、又外國人ニ鑛業ヲ許セバ、ドシ／＼外國ノ裕カナル資本ヲ以テ、日本ノ鑛業權ハ遂ニ外國人ノ手ニ移ッデシマフト云フ虞ガアルト云フコトデゴザイマス、其次ニハ他ノ法律トノ鈞合等モアル、即チ土地所有權トカ何トカ云フモノニ關係ガアル故ニ、第五條ヲ削グテ外國人ニ許スコトハ、時機デナイト云フコトデ、御反對ノヤウニ伺ヒマシタガ、以上ノ四點ヲ述ベラレマシタガ、吾々ノ考ヘルトコロデハ、全ク反對ノ考デアリマス、我國ヲ未開々々ト云ハレマシタケレドモ、資本ノ點ニ於テハ、或ハ外國人ニ讓ルコトガアルカハ知レヌケレドモ、最早我國勢ガ、坂本君ノ認メラル、如ク未開デハナイ、或場合ニ於テハ外國人ヨリモ尙進ンデ居ルトコロガ、十分アルト云フコトヲ認メテ居ル、資本ト云フモノハ、最モ鑛業ニ必要デゴザイマスルガ、今内地ノ資本ガ餘リアツデ鑛業鑛區ガ足りナイカト云フト、此鑛業ハ假令資本ガアリト雖モ、皆其業ニ從事スルモノデハゴザイマセヌ、鑛業ハ鑛業ノ思想ガアツテ、鑛業ニ經驗ガアリ、鑛業ニ最モ熱心ナル人ニアラザレバ、内地人デモ外國人デモ施行サレヌコトハ、極ッタクデアル、此點ニ於テモ坂本君ト私ハ意見ヲ異ニシテ居ル、又外資ハ我國ノ現在ニ於テハ、頗ル歡迎スル場合デアル、唯利息ヲ付ケテ外資ヲ借入ル、コトハ、却ッテ甚ダ其策ノ得タルモノデナイ、御承知ノ如ク鑛業ナルモノ、眞ノ純益ト云フモノハ、薄イモノデアツテ、其事業ノタメニ外國ノ資本ヲ入レテ、外人ニ職業ヲ與ヘルト云フコト、及是ヨリ生産スル鑛物ト云フモノハ、ハヤリ我國ノ正貨ヲ大ニ増殖スルコトコロノモノデアル、最モ都合ノ好イコトデアルノミナラズ、外國人ガ我帝國ノ鑛業タメニ資本ヲ投ジタナラバ、其國ハ我國ト共ニ其職業ヲ愛スルノ念慮ガ生ズルト信ズル、今日露國ト開戰ノ場合ニ於テモ、日本ノ幸福ヲ熱心ニ希望スルニ相違ナイト信ズル故ニ、彼ノ資本ヲ我國ニ投ジテ、外國人ガ益々日本ノ鑛區ヲ大ニ助クルニ相違ナイコトハ、明瞭ナルコトデアルト考ヘマス、又他ノ法律ノ鈞合

云々、土地所有權トカフコトヲ、御述ベニナリマシタケレドモ、土地所有權ハ、土地所有權ノ法律ヲ漸次進メテ、外人ニ與フル時期ガ到來スルデアラウト思ヒマス、何モ彼モ一ヨリ十マデ同時ニ進メテ改良スルコトハ出來ナイカラ、一ツツ、進メテ行ツタ方ガ宜シカラウト思ヒマス、唯今坂本君ノ杞憂セラル、ガ如ク、續々資本ガ這入ッテ來レバ、最モ願フコトコデアアルケレドモ、サウ恐ロシク這入ラヌコト、私ハ信ズル、而シテ此鑛業法案ノ改正ノ中ニハ、試掘出願ノ濫用ヲ以テ最モ不都合ノモノデアッテ、鑛業ノ發達ヲ害スルモノト認メテ、試掘地ニ課稅スル案ニナッテ居ル、是ハ薄資ノ者ガ多クノ鑛區ヲ願フテ、所謂細張ヲシテ、有力者ノ鑛業ヲ妨ケルト云フコトノ弊ヲ改ムルガタメニ、試掘稅ノタメニ其弊害ヲ茲ニ一洗スルト云フコトノ趣意ニシテ、而シテ一方ニハ外人ニ鑛業ヲ許ス、斯ウナレバ今多クノ試掘出願地、即チ二十四億何千萬ト云フ試掘ノ地ハ、多クハ薄資ノ人ガ、十數年鑛業ニ熱心シテ經營シテ居ルモノガ、其ノタメニ一朝中止シテシマウデアアル、一方ニ外資ヲ入ルコトヲ許サナイ、是ノ如クスレバ、今日日本僅々タルコトノ鑛業者ハ、或ハ赤子ノ手ヲ捻デ上ゲテ、其鑛區ヲ奪フト云フ結果ニナルカ知ラヌケレドモ、ソレデハ日本ノ鑛業ノ上ニ於テ、得ベキ幸福ヲ與ヘルコトガ出來ナイ結果ニナル、今日有力ナ鑛業者ト云フテ、大ニ信用セラレテ、自カラモ鑛業家トシテ威張ッテ居ルケレドモ、今ヨリ十年二十年ノ昔ヲ顧ミタナラバ、悉ク資産家ガ鑛業家ニナッテ居ル譯ノモノデナイ、故ニ成タケ鑛業ノ發達ヲ圖ッテ、前途ニ此鑛產物ヲ大ニ進メテ行クト云フコトノ點ニ於テハ、第五條ヲ削ルトハ、餘程利益デアラウ、急務デアルト云フコトハ、認メテ居ルデアリマス、尙御話スベキコトガゴザイマスケレドモ、餘リ長ク述ベマスルノハ、憚ルコトデアリマスカラ、是デ止メテ置キマスガ、異ナッテ御反對ノ御議論ガゴザイマスレバ、私ノ述ベルコトハ澤山ゴザイマス

○委員長堀田連太郎君 私モ大事ノ問題デアリマスカラ、一言致シテ置キマス、平生敬愛シテ居リマス坂本君ノ御口カラ、先刻ノヤウナ御發言ガアラウトハ、豫期シテ居リマセヌ、少シク意外ニ感ズルデアリマス、デ此五條ノコトニ付イテハ最早殆ンド輿論ガ認メテ居ルノミナラズ、過日ノ委員會ニモ當局大臣スラ、其意志ノ在ルトコロヲ發表サレタ位ノモノデ、明々白々ナ問題ニナッテ居ル、デ餘リ悲觀ノ御考ヘデ、殆ド吾々御ナブリニナッテ居ルハ、殆ド滿場一致デ可決シタ問題デ、ヨモヤ今度ハ政府ガ此精神ニ於テ死シタモノヲ、再ビ現シテ來ルヤウナコトハ、アルマイト思テ居タ位デアリマス、所ガ現ハシテハ來タガ、實ハ骸ヲ此所ヘ出シタト云フ實際ノ意味合ニナッテ居ル、甚ダ明瞭ナル問題デ、先刻來金子君、藤君カラ、略々御反駁ニナッテ點デ、其以上ノコトヲ述ベル必要ハ殆ドアリマセヌガ、尙今日トナッテハ、モウ一ツ重大ノ理由ガ、茲ニ一昨年来生ジテ居ル、是ハ單ニ鑛業法ト云フコトバカリニハ關係シマセヌ、少シク問題ガ廣クナリマスデアリマスガ、所謂滿韓經營ト云フ、吾々帝國臣民ハ責任ヲ有ッテ居ルノデ、聞クトコロニ依リマス、是ハハマダ秘密デアリマセウケレドモ、差當リ韓國ニ向ッテ我政府カラ要求シテ居ラレル、其箇條ノ一ハ、鑛山開放ノコトデアアルヤウデ、ソレハ唯獨リ日本人ニバカリ許スト云フノデハナク、詰リ外國人ニ對シテ、開放主義ヲ取ルト云フコトノ交渉モシテ居ル鹽梅デ、韓國ノ對シテハ御前ノ方ノ鑛山ハ十分開放シテ、吾々ニモサセイ、所ガ内ノ日本内地ヘハ、

外國人ヲ入レナイ、隨分自家撞着ノ話デ、況シテ先刻坂本君ノ杞憂サレテ云ハレタ點ハ、外國人ニ殆ド此日本ノ鑛山ヲ、占領サレシマウ虞アルガ如ク言ハレタガ、サウナッテ呉レバ結構デ、ナカノ、サウ云フコトハ、事實ニ於テ急ニ——急ニデハナイ、有り得ベカラザルコト、吾々ハ信ズル、縱シハ第五條ヲ削除シタカラト云ッテ、ソレデ坂本君ノ心配サレルガ如キ點ガ起ッテ來レバ、實ニ幸ダガ、其反對デ斯ウシテ置イテ、餘程彼等ヲ誘導シナケレバ、外人ト云フモノハ、ヤハリ這入ッテ來ハシナイ、是ハモウ殆ド事實ニ於テ、世間ニ認メラレテ居ルト思ヒマスカラ、強イテ申シマセヌ、餘リニ意外ニ感ジマスルタメニ、一言申スノデ、願クバ滿場一致ヲ以テ、此第五條ノ削除說ヲ成立セサルヤウニ致シタイト考ヘマスカラ、一言申シテ置キマス

○坂本金彌君 私ハ此第五條ヲ存スルト云フ說ヲ述ベマシタコトガ、殆ド包圍攻撃ヲセラル、ガ如キ有様デ、誠ニ孤立ノ趨勢ノヤウニ見ヘマスルノデゴザイマス、併シ私ハ私デ堅ク信ズルトコロガアリマスカラ、モウ一言述ベテ置キマス、今堀田君ノ御說ヲ密カニ聞ケバ、韓國ニ於テハ鑛山モスガリ開放シテシマッテ、誰ニデモヤラセルト云フコトヲ、政府ハ迫ッテ居ルノデ、日本ノ鑛山ヲ閉ヂテシマッテ、外國ニ開放セイト云フコトハ、是ハ餘程撞着ノ論デハナイカト云フ、御說デアッタヤウデスガ、是ハ御尤デス、堀田君ハ朝鮮ト云フ國ヲ、獨立シタルトコロノ、何處マデモ國デ、事實上日本ノナント云フ言葉ニナルカ知ラヌガ、日本ノ國デナイト云フ御議論デアリマスレバ、或ハ其說ハ御尤カモ知ラヌガ、併シ私共ハ淡泊ニ申シマスレバ、朝鮮國ヲ以テ獨立國ト認メヌ、詰リ是ハ日本ノ保護ノ下ニ置ク——主權ト云フモノガ朝鮮ニナイ、日本ニ於テ主權ハ有ツモノトシナケレバ仕方ナイ、今日巨額ノ軍費ヲ國民ガ負擔シテ掛ッテ居ルノモ、ドウカト云ヘバ、滿洲問題モアルガ、最モ主要ナルトコロ朝鮮ト云フモノハ、詰リ日本デ言葉ヲ平カニ云ヘバ、自由ニシヤウト云フ考カラヤッテ居ルカラ、アレバ外國ト云フコトデ御論ジナルノハ、表向ノ國ト云フ議論カラ云ヘバ、サウデゴザイマスガ、之ヲ國ト國トノ關係ト云フコトニ持ッテ行クト云フコトハ、ドウデアラウカト云フコトヲ考ヘル、又之ヲ國ト國トノ關係トシタコトガ、ドウカト云ヘバ、先ヅ今日ノ國際ノ有様ト云フモノハ、立派ナ婉曲ナル言葉モアリマス、デアリマスガ、其中ヘ這入レバ、自分ノ國ノ利益ヲ本當ニ取ルコトガ出來ルナラバ、縱シドウナラウトモ、言葉サヘ文字サヘ、婉曲ニ穩カニシテイケバ、少々間違ッタコトガ出來テモ、成タケ自分ノ國ノ利益ヲ與ヘルヤウニスルト云フ方針デ、何處モヤッテ居ルデアリマス、現ニ此日本ノ人ガ外國ヘ行クト云フコトカラ考ヘテ往ッテモ、サウデゴザイマス、米國ハ日本人ガ移住スルトシマシテモ、非常ニ擯斥セラレ、拒絶サレテ居ル、コンナコトガ國ト國ト、同ジヤウニ附合ッテ居ルト云フコトカラ云ヒマシテ、餘所カラ往キマス人ヲ、無禮千萬ニ拒絶スルト云フヤウナコトガ、出來ル譯ノモノデナイ……

○委員長堀田連太郎君 成ベク鑛山ニ關係アル點デ御述ベナサイ
○坂本金彌君 宜シウゴザイマス、ソレデハソレハ其位ニ致シマセウ、兎ニ角朝鮮ト云フコトデ、例ヲ御取リナサルト云フコトハ、穩カデナイト考ヘル、ソレカラ先ノコトハ、辯明セヌデモ宜シウゴザイマスケレドモ、藤君カラ日本ハ非常ニ野蠻ノ國デ、歐羅巴ニ較ブレバ開ケナイ國ト認メタト云フ、攻撃デゴザイマシタガ、是ハ少シ御論旨ガ違ッテ居ルト思ヒマスカラ、チヨット申シテ置キマスガ、サウデアアリマセヌ、私ノ申シタノハ斯ウナデス、今日日本デ鑛

業ニ資本ヲ投ズル人ガ、ドウカト云ヘバ、最モ少ナシ、斯ウ云フノデス、日本ニ鑛業ニ資本ヲ投ズル人ガ、最モ少ナシト云フノデアデ、此鑛山ト云フモノハ、盡ク外國人ニ取ラレ、取ラレヌト云フノガ、問題デハナシ、一ツ大ナルモノヲ取ラレテモ、此一ツト云フモノガ、非常ノ關係ヲ持ツ、日本デモ御承知ノ通、彼ノ大治ノ鐵鑛ヲ約束スルシマシテモ、ドノ位金ヲ出スト云フヤウナコトガ解ル、一ノ特定ノ大ナル鑛山ヲヤラレマシテモ、是ハ餘程違ヒマス、サウシテ少シ歐羅巴ノ鑛業ノ有様ヲ御覽ニナッタナラバ解リマスガ、今日日本ノ鑛業ノ程度ト云フモノヲ、歐羅巴ノ鑛業ノ程度ニ較ベテ見マシタナラバ、非常ノ懸隔ガ付イテ居ルノデス、此點ニ付イテハ何トモ云ヒヤウガナシ、機械ノ應用ナドニ付イテハ、又資本ニ付イテモ非常ノ差ガアル、是等ガ万一日本ニ這入ッテ來ルト云フコトニナレバ、一ツデモ國家百年ノタメニ、非常ニ憂ヘナケレバナラヌコトガ、生ジハシナイカト思フ、此鑛山デナク、炭鑛業ト云フモノハ、ナンボウデモヤラウト思ヘバ出來ルモノダガ、鑛山ト云フモノハ、或特定ノモノ、一ツヲ占領シテシマヘバ、ソレデモウ共同一ノモノヲ拵ヘルト云フデモ出來ナイ、モウ一ツ御議論ノアリマシタ、土地ノ所有權ヲ許サヌト云フコトニ付イテ、餘程條約改正時分ニ議論ガアツタガ、今日ハソシ心配ハナシ、斯ウ云フ說モアルガ、私モ其議論デ、土地所有ト云フコト、鑛山トハ、大變違フ、土地ト云フモノハ大變多シ、鑛山ト云フモノハ實際サウ澤山アルモノデナシ、土地所有ノ例ト鑛山ノコトハ、餘程違ヒマス、私モ今日土地所有權マデ、外國人ニ與ヘヌト云フ程ノ、卑怯ナル論者デモナシ、又ソレ程ノ鎖國主義ノ論者デモナシデスカラ、是ハ御考ヲ願タイ

○委員長堀田連太郎君 チョット坂本君ニ、御解リニナッテ居ラウト思ヒマスガ、御注意シテ置キマスノハ、今ノ法律デモ、外國人ガ二人ニナレバ出來マス

○坂本金彌君 ソレハ知ッテ居リマス、唯手續ヲ少シデモ面倒ニシテ置キタイ

○委員長堀田連太郎君 ソレデハドウ致シマセウ、採決致シマセウカ

○委員長堀田連太郎君 ソレデハ採決ノ仕方ハ、藤君ノ御發議ガ、詰リ之ヲ削ルト云フノデ、坂本君ハ原案ヲ据置クト云フノデアリマスカラ、藤君ノ第五條ヲ削ルト云フ說カラ採決致シマス、藤君ノ御說ニ御賛成ノ方ハ、起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○委員長堀田連太郎君 大多數ト認メマス、第六條ニ移リマス

○藤金作君 此第六條ノ二項ノ所ニ於テ、少シ質問モアリ、又考慮ヲ要スル所モアルガ、少シ困ルト思フノハ、質問ト審議ガ一ツニ進ミマスカラ、私ニ於テハ少シ意見ガアリマスガ

○委員長堀田連太郎君 藤君ニ御尋ネ致シマスガ、先ニ質問ナスッタラ如何デス

○藤金作君 然ラバ質問致シマス、第二項ノ法文ノ趣意ハ、例ヘバ現在鑛業ヲヤッテ居ルモノ、土地或ハ其關係地元ニ對シ契約シタコトハ、別段他ニ移轉シタル場合ニ契約ヲ改メナイデモ、其契約ハ代ッテコロノ後繼者ガ、其契約ノ權利ヲ有ッテ居ルモノト、解釋シテ宜シウゴザイマスガ、果シテ其通デアレバ、又權利バカリデナシ、義務ノ契約ガアレハ、其義務モ亦均シク後繼者、即チ次ノ鑛業者ガ引受ケルモノト規定シタモノト見ナケレバナラヌ、是等ノ邊ニ付キ、此法文ノ解釋ハ如何デスカ、政府委員ニ質問致シマス

○政府委員田中隆三君 六條ハ御尋ノ通、權利モ義務モ共ニ後繼者ニ移ッテ行クノデ、鑛業人ガ鑛業ヲ譲リ渡セバ、前ノ鑛業者ノ約束シタ權利義務、夫モ次ノ鑛業人ニ移ル、又土地所有ノ方ガ得テ居ル權利、又土地所有者ガ鑛業人ニ對シテ負フコロノ義務モ、土地ノ所有權ヲ他人ニ讓渡セバ、其讓受人ハ前土地所有者ニ續イテ、權利義務ヲ負ッテ行カナケレバナラヌ、其權利義務ハ本法ニ規定シタル權利義務デ、殆ド全クト云フテ宜シイガ、土地所有ノ關係カラ起ッテ來ル權利義務ガ、其他六條ノ第二項ノ手續モアリマスガ、手續上ノ關係ノ移ルコトハ、先日差上マシタ摺者ニ詳シク書イテアル、近頃ニ至ッテ法律ニ規定シタル手續ヲシテ居ル内ニ、土地所有者ガ其自分ノ土地ヲ他人ニ讓渡シテシモウト、モウ一遍鑛業人ガ讓受ニ向ッテ、土地所有者ニ手續ヲ繰リ返ヘシテ行カナケレバナラヌ、其間ニ又第三者ニ其土地ガ移ルト云フコトニナルト、法律ノ極メタコロノ完了ガ出來ナイコトニナル、然ルニ今度ハ一旦法律ノ定メタ權利義務ガ成立ツタ以上ハ、承繼人ニ於テ承繼ナケレバナラヌト云フコトヲ、六條ニ於テ極メマシタノデアリマス

○藤金作君 チョット假リニ事實ヲ一ツ擧ゲテ御尋ネセヌト、私ニ了解セヌ、例ヘバ茲ニ鑛業者ガ、其鑛業ニ必要ナル土地ヲ使用スル、或道路何ニ彼ニ付イテ、土地ノ法人若クハ個人トノ契約ガアレバ、即チ此鑛業ヲ讓渡シタ時ハ、讓受ケタモノハ、其約束ヲ繼續シテ行ク、然ルニ鑛業者ガ水利ヲ保護スルタメニ、或ハ公共團體ノ利益ニ付イテ、鑛業中ニドレダケノ備金トカ、積立金ヲシテ、其所ニ利益ヲ與フル契約ガ成立ッテ居ルモノガアレバ、其契約ハ今ノ御說明ノ如ク、本法ニ規定ガナイカラ、ソレハ認メヌト云フノデアリマスガ、又夫モヤハリ義務ハ鑛業者ノ引受ケルコトニナリマスガ、是ハ餘程土地ニ關係ガ深イノデ、此說明バ最モ明ラカニ、ハッキリシテ貫ヒタイト思ヒマス

○政府委員田中隆三君 御答致シマス、丁度先刻御答致シマシタ例ニ當ルト思ヒマス、鑛業人ガ鑛業上、他人ノ土地ヲ使用スルツレバ、其使用ニ對スル保障、其保障ニモイロ／＼ゴザイマシテ、金錢代價ヲ拂フ場合ガ多クゴザイマセウケレドモ、或ハ金錢ノ代價ニ伴ッテ、或ハ年々此道路ヲドウスルツレバ、或ハ斯ウ云フ行為ヲスルツレバ、保障ノ方法ハ金錢支拂ノ外ニイロ／＼アル、併シソレハ此法律カラ云ヘバ、保障ノ一ツデアル、此保障ハ權利義務ヲシテ移ッテ行クモノト、當局者ニ於テハ解釋シテ居リマス

○委員長堀田連太郎君 私モチョット御尋ネシテ置キマスガ、第六條ノ二項是ハ餘程細カニ書イテアルカラ、尙分リ惡クイ風ニナラウト思フ、本法ノ規定ニ依リ爲シタル手續、是ハ分ッテ居ル其他ノ行為ト云フノハ、餘程意味モ廣クモ取レル、又狹クモ取レルガ、其他ノ行為ト云フノハ、ドウ云フモノヲ指スカ、ソレガ一ツ、ソレカラ鑛業ヲ出願セントスルト鑛業出願人トノ區別デスガ、出願セントスルモノハ、所謂其意志ガアッテ、未ダ願書ヲ出シテ居ラヌト云フモノヲ、意味スルモノデアラウト思フ、果シテサウカ、ソレカラ又鑛業權者ト、茲ニ殊ニ明記シタノハ、本法實施以後ニ當籍メルタメニ、鑛業權者ト殊ニ書タモノデアルガ、大變重複シテ居ルヤウニ思ヒマスガ

○政府委員田中隆三君 御答致シマスガ、此本法ノ規定ニ依リ爲シタル手續、其他ノ行為ト云フモノハ、實ニ同ジヤウナ法律ニモ、イロ／＼澤山書イテアリマスノデ、格別深イ意味ハゴザイマセヌ、其他ノ行為ト云ヘバ、其行為ノ中ニ手續モ含ムノデ、唯ダ手續ト

云へハ、行爲ハ要ラヌト云フヤウナ説モ、段々ゴザイマシタガ、從來ノ法律ハ皆ナ斯ウ云フ風ニ書イテ居ルノデスカラ、其區別ハドウ云フ風ニシテ居ルカト云フト、手續ト云フト、官廳ト人民トノ間ノ行爲ヲ、重モニ手續ト稱シテ居ル、行爲ト云フ方ハ、多クハ人民ト人民トノ間ニ使テ居ルト云フヤウナ、極ク詰ラヌ區別カモ知レマセヌガ、強イテ區別ヲ解釋スレバ、斯ウ云フノデアリマス、ソレデ礦業法ニ於テ、官廳ト人民トノ間ノ關係ハ、既ニ御承知ノ通出頭其他ノ手續ガアリマスガ、行爲ト云フノハ、土地使用ニ付イテ礦業人ト地主トノ間ニ、協議ヲ開イテ居ルトカ、一方カラ申込シテ、他ノ一方カラ斯ウ答ガ來テ居ルト云フヤウナ行爲ガ、現ハレテ居ルト云フヤウナ場合デアリマス、ソレカラ礦業ヲ出願セントスル者ト云フノハ、大變文字ガ大變誤デゴザイマスケレドモ、此法律ニ於テハ極メテ小ナ場合デアッテ、詰リ出願セントスル者ハ、土地測量ノ認可ヲ得テ、他人ノ土地ニ立入ッテ、測量調査スルコトガ出來ルト、後ノ方ニアリマスガ、其場合ノコトヲ言フノデアッテ、單ニ頭ノ中デ礦業ヲ出願セント考ヘテ居ルト云フヤウナ場合デアハゴザイマス、サウ云フ場合ニハ、別ニ何ニモ規定ガゴザイマセヌカラ、詰リ本法ノ規定ニ依ッテ、ナニモ手續モ行爲ノシヤウモナイノデアリマス、ソレカラ礦業出願人ト云フノハ既ニ願書ヲ出シテカラ後ノ人ノコトデ、礦業權者ト云フハ、全ク礦業權利者トナッテ、權利ヲ得タ後ノ人ノコトヲ云フノデ唯順序ヲ追ッテ出願セントスル人ハ測量等ノ認可ヲ願フ人ニモ、種々ノ手續行爲ガアルトカ、礦業權ヲ得テカラ後ニモ、土地其他ニイロ／＼、關係ガアリマスカラ、各場合ニ於ケル人ヲバツト擧ゲタケテデアリマシテ、深ク意味ハアリマセヌ

○藤金作君 此第六條ノ二項ハ、少シドウカ修正ガシタイ考ヘガアリマスガ、モウ少シ法文ヲ變ヘタイ考ガアリマスガ、今直ニ此所デ其修正ヲ適當ニ考ヘ出セヌノデスカラ、此後段ハ少シ決定ヲ御延バシニナルコトヲ、希望致シマス

○委員長堀田連太郎君 ソレデハ諸君ニ御諮リ致シテ見マセウガ、藤君ニ御相談致シマスガ、是ハ假決定デアリマスカラ、其精神ニ於テ御異議ガナイト云フコトナラバ、字句ノ修正等ニ關スルコトダケナラバ、假ニ決定シテ置イテ、アトデ更ニアナタノ御腹案ノ出來タトキニ、御出シニナッテハ如何デスカ、未定ト云フノガ、此法文ノ精神ニ付イテ異議アリト云フ未定ト云フノト、法文ノ書直シヲシタイト云フ未定ト云フノト、未定ノ程度ニ於テ違フノデスカ、アナタノ御精神ハ少シ文字ノトコロヲ修正シタイト云フナラバ、誠ニ輕イ意味ニ取レルノデアリマスガ

○藤金作君 其文字ト云フノハ、例ヘハ契約ノ行爲ガ、即チ雙互共ニ之ヲ承繼スルト云フコトニシタイ、即チ今少シ文字ヲ加ヘタナラバ政府委員ノ述べラル、トコロノ説明ノ趣意ガ、茲ニ現ハスコトガ出來ヤウト思ヒマス、今チヨット適當ナル文字ヲ思ヒ出シマセヌガ

○政府委員田中隆三君 尙御參考マデニ申上ゲテ置キマスガ、將來此礦業法ノ關係ハ、唯今御述べニナッテヤウニ、權利義務ガ承繼人ニ移ルヤウニナリマスノデ、其權利義務ノ範圍ハ餘程ハキリシナケレバナラヌノデスカラ、此等ハ總テ登錄スルコトニナルノデス、礦業權ヲ讓受ケル人或ハ土地ヲ讓受ケル人モ、皆其關係者ヲ取調ベマスニハ、原簿ヲ取調ヘルト、登錄シテアルト云フヤウニナッテ、極ク明瞭デ、決シテ疑義ノ起ルヤウナコトハ、ナイ積リデアリマス

○藤金作君 今政府委員ノ御説明モアリマスケレドモ、此礦業權ヲ移轉スル場合ニ於テ、其地主トカ何トカニ相談ヲシナケレバ、或ハ名義書換トカ、何トカラスルコトノ出來ヌト云フヤウニハ、ナッテ居ラヌヤウデアリマス、其間ニ礦業權者ノ甲者ガ乙者ニ移轉シテ居ルカモ知レヌ、サウ云フ場合ハ登錄ト云フコトモ、亦承繼人ガ照會スレバ宜イカ、左モナケレバ知ラズ識ラズノ間ニ、其主人ガ變ッテ居ルト云フヤウナ結果ヲ、見ルコトニナラウト思ヒマス故ニ法文ヲ今少シ雙互ト云フ意味ヲ書キ現サヌト、政府委員ノ御説明ノ如クニハナラヌヤウニ考ヘルノデアリマス

○政府委員田中隆三君 丁度御尋ノ如ク、コツツリ變ッタモ、ドウシテモ變ッタ以上ハ代ッテソレヲ引受ケタ人デ、礦業ノ方カラ申シマスレバ、次ノ礦業人トナッタ人ガ、義務ヲ引繼テ義務ヲ盡サナケレバナラヌ、土地所有者ノ方モ、所有權利者ガ代レバ、變ッタ所有者ノ方ガ、權利モ得、義務モ盡サナケレバナラヌノデ、チャント極ッテ居ルノデス、別ニ茲ニ雙互トカ何トカ云フ文字ヲ、現サヌデモ宜イヤウニ思ヒマス、併シ御趣旨ガ讓渡シタトキハ、讓受人ガ義務ヲ負ハヌデ、元ノ礦業人ニ義務ヲ負ハセヤウ、又土地所有者ガ變ッタトキハ、其新土地所有者ガ義務ヲ負フノデナクシテ、元ノ土地所有者ガ義務ヲ盡サナケレバナラヌト云フヤウナ、御趣意ナラバ、全ク此法案ト變リマスケレドモ、サウデナク讓受ケタ人ガ權利モ得義務ヲ盡クスト云フ意味デアリマスカラ、此法案ニ於テ今ノ御話シノヤウニナッテ、文字ヲ變ズル必要ハナイヤウニ思ヒマスガ、尙ホ御修正案ヲ伺ヒマシテ、意見ヲ述ベルコトニ致シマス

○藤金作君 第六條ニ付イテハ意見ハアリマスケレドモ、唯今ノ政府委員ノ御意見ニ對シ、尙熟考致シマスカラ、委員長ノ御述ニナルカ如ク、之ヲ假決議ト見レバ全體ヲ決定スル前ニ、修正意見ヲ提出スル餘地ガアルト思ヒマスノデ、第六條ニ付イテハ、此場合ハ修正意見ヲ提出致シマセヌ

○伊藤傳右衛門君 私ハ第六條ハ原案賛成デアリマス

○委員長堀田連太郎君 ソレデハ別段御異議ガアリマセヌバ、第六條ハ此場合原案ニ決シテ置キマス、他日又藤君カラ修正案ガ出マシテ、ソレヲ討議ニ付シマシタ上ニ、變ルカモ知レマセヌ、此場合ハ兎ニ角原案ニ決シテ置キマス、第七條ニ移リマス

○藤金作君 原案賛成

○委員長堀田連太郎君 他ニ御意見ガアリマセヌバ、第七條ハ是ニ決シマス、次ハ第八條

○金子元三郎君 第八條ニ本法ニ於テ礦夫ト稱スルハ礦業ニ從事スル勞役者ヲ謂フ「斯ウ云フコトガアリマシテ、此條文ハ極ク明白ナノデアリマス、百五條ニ至リテ、礦業權者ハ其代理人戸主家族同居者雇人其他ノ從業者ト云フコトガアリマシテ、此中ニハ本法ニ稱スル礦夫ト云フモノガナイ、此礦夫ナルモノハ、是ハ百五條ノ其ノ他ノ從業者ニ含シテ居ルト云フ、譯デゴザイマスガ

○政府委員田中隆三君 御質問ノ通りデゴザイマス

○委員長堀田連太郎君 別ニ御意見ガアリマセヌバ、第九條ニ移リマス

○波多野傳三郎君 極ク簡單ナル修正デスカ、五千坪以上トアルノヲ、現行ノ條例ノ如ク、五ヲ三ニ直ス修正説ヲ出シマス、理窟ハ云ハズト分リマス

○委員長堀田連太郎君 御尋ネシマスガ、石炭ノ方ハ五万坪此儘デ宜シイト云フ意見アスカ

○波多野傳三郎君 サウデス

○藤金作君 政府委員ニ御尋ネシマスガ、六十萬坪ハヤハリ從前ノ如ク超エルコトヲ得ヌトナリ居リマスガ、此六十萬坪ハ合併トカ其他ノコトニ付イテハ、又二百萬坪ニナリテモ差支ナイノデアリマスガ、六十萬坪ニ是非限ラレル法文ノ趣旨ハ、ドウ云フコトニ必要ガアルノデスカ

○政府委員田中隆三君 是ハ六十萬坪位ノ一ツノ區域デハ、立派ニ先ヅ普通ニ適當ノ事業ガ起サセルト云フコトヲ、區切リトシマシテ、成ルベク國家ガ此區域ヲ根據トシテ、一ツツノ事業ヲ越シタイ、千萬坪モ百万坪モ大キナ區域ヲ有テ居テ、サウシテ或ル其片隅ミデ以テ一方ノ仕事ヲシテ居テ、サウシテ權利ヲ維持スルコトノナイヤウニ、凡ソ六十萬坪以下ノ區域内ニ於テ、一ツツノ仕事ヲ起サセル趣意カラ起テ居ルノデアリマス、此坪數ハ數字ノコトデゴザイマスカラ、必シモ六十萬坪ト云フ適切ナ理由ハ、ゴザイマセヌケレドモ、各外國ノ例等ニ依リマシテモ、大凡此數字以內ノモノニナリテ居ルヤウデ、制限ハ凡ソ是等ガ標準ニナリテ居ルヤウデゴザイマス、ソレカラ唯今鑛區ヲ小サクスル方ノ、三千坪以上ト云フヤウナ御意見モ出マシマスガ、是ハ實ハ鑛區ヲ小サクスルト云フ、小サナ鑛區デ仕事ヲスルコトハ實ハ餘リ鑛業上望シイコトデナイ、若シモ小サナ區域デ仕事ヲスル、言ハシ多クハ他人ノ鑛區ト鑛區トノ間ノ介在地デゴザイマス、サウ云フ介在地ノ如キモノニ於テ、仕事ノ見込アレバ、其ドツチカノ鑛區ノ方ヘク付テ、サウシテ適切ナ仕事ノ中ニ加ヘテシマッタ方ガ宜シイ、小サイノ獨立ノ仕事ヲスルト云フコトハ、ドウモ弊害ガゴザイマシ、仕事ノ上カラ國家ノ利益ヲ完全ニ保護スル上カラハ、ドウモ面白クナイト云フノデ、今度ハ此最上限ヲ稍々大キク致シマシタノデゴザイマス、併ナガラ固ヨリ附則ニモゴザイマシ、通リ、現在ニ於テ今日ニ於テ既ニ許可ヲ得テ居ルモノ、又此條例實施マデノ間ニ出願シタルモノニ付イテハ、現在ノ法律ノ通り差支ナイ積リデゴザイマス、將來ニ於テ成ベク鑛區ノ大ナランコトヲ望ム、斯ウ云フ意味デ是ガ出マシタノデゴザイマス、成ベク此原案ニ御賛成ヲ願ヒマス

○平岡浩太郎君 此六十萬坪ト云フノヲ、一ツ研究シテ見タイト思フデスカ、之ヲ百万坪トスレバ、税モ減ル、六十萬坪ニ付イテ幾ラ印紙ヲ貼ルト云フコトニナリテ居ルガ、サウ云フ關係カラ來タノデセウカ

○政府委員田中隆三君 税ノコトハ、ヤハリ一ノ結果ニナリマスケレドモ、元ト法律ヲ定メマシタ目的デハゴザイマセヌ、目的ハ今申上ゲタヤウニ、一區域ニソレダケノ區域デ、一ノ仕事ノ起ルコトヲ望ム趣意デゴザイマス、併ナガラ近來隨分非常ナ設備ヲシテ、大キナ鑛業ヲナサル方ガアル、又其鑛場ノ狀況ト、サウ云フコトヲ必要トスル場合モゴザイマスカラ、但書ヲ以テ鑛利保護上、又ハ鑛區分合上、已ムヲ得サル場合ニハ、六十萬坪ヲ超エルコトヲ得トシテゴザイマシテ、或特殊ノ場合ハ、事業ノ性質上、鑛脉等ノ狀況上、大キナ大鑛區ヲソコヘ設定スル必要ガアレバ、是ヨリ大キクスルモ構ハヌコトニナリテ居ル

○平岡浩太郎君 ソレデハ私ハ百万坪ト修正シテ貰ヒタイ

○金子元三郎君 唯今ノ御説明ノコトデ、チヨット御尋ネシテ見タイト思ヒマスガ、其六十萬坪ヲ超エルコトヲ得ト云フノハ、大概當局者ノ見込ハ、マダ實際ノ問題デ、幾ラ程ト云フデ豫メ御定メニナルコトハ、出來マスマイト思ヒマスケレドモ、併シ無制限ニ御許シニナルコトハゴザイマスマイガ、凡ソ最大限ノ御見込ハ、幾ラマデ位ノモノデアリマスカ

○政府委員田中隆三君 唯今別ニ腹案トシテ、極メテ居リマスコトハゴザイマセヌ、併ナガラ隨分大キナ鑛區ガゴザイマス、例ヘバ三池鑛山ノ如キハ數百萬坪ニ亘テ居リマス、併ナガラソレハ事實ノ狀況カラシテ、立派ニソレダケ増サセテモ差支ナイ、又増シタ鑛區ニ相當シテ居ル仕事ヲシテ居ルモノト見マスカラ、例ヘバ現在ノ鑛區ガ百万坪ナラバ、更ニ尙十萬坪ヲ加ヘテ、又二十萬坪ヲ加ヘテ、百二十萬坪、百五十萬坪ト云フ鑛區ニスルモ構ハナイ、斯ウ云フ風ニ認メテ許シマスノデゴザイマス、唯實況カラ起リマスノデ、別ニ極メテ何ソボ以上ハ往カヌ、何ソボマデハ宜シイト云フ意味デハナイノデ、鑛利保護上必要ナル場合、又ハ鑛區ト鑛區トヲ合併スルト云フヤウナ場合ノタメニ、但書ヲ極メタノデゴザイマス

○藤金作君 私ハ平岡君ガ、六十萬坪ヲ百万坪ト修正スル說ニ賛成致シマス、サウシテ波多野君ノ五千坪ヲ二千坪トスルト云フ修正說モ賛成致シマス、又私ハ五萬坪ヲ三萬坪ト致シタイト云フ修正說ヲ提出致シマス、此元トノ案ハ一萬坪ト云フモノヲ、五倍シテ五萬坪トナリテ居ル、ソレカラ鑛物ノ方ハ元ト二千坪ヲ六割増シテ五千坪、是ハヤハリ三千坪差支ナイト思ヒマスガ、鑛物ノ場合ト石炭ノ場合ガ、大ニ開堀上ノ經營ガ違ヒマス、坪數ノ大キイ方ガ宜シイニハ相違ゴザイマセヌ、併ナガラ或鑛區ト鑛區トノ間ニ、一萬九千坪殘テ居ルトシタトキハ、ソレハ其儘何レカラモ望ムコトガ出來ヌ場合ガアル、云ハ、甲乙兩者ガ、業トシテ其所ヘ這入デ願フコトハ出來マセヌカ、一ツノ鑛區ニ向テハ許サヌト云フコトノ、制限上ノ精神カラ云ヘバ、五萬坪ガヨイカモ知ラヌガ、併ナガラ或場合ニ二萬坪デ其出來ナイコトハナイ、夫等ヨリ照シテ考ヘレバ、私ハ元ノ一萬坪ヲ三萬坪トナシテ、三萬坪ト修正スルガ至當ト考ヘマス

○政府委員田中隆三君 チヨット申上マスガ、實ハ段々鑛山行政ノ整理ヲシテ參リマス、同時ニ唯今ノ許可地等ニハ、往々測量ノ間違ガアッテ、實測シテ段々極メテ往クト、鑛區ト鑛區トノ間ニ、段々小サナ間隔地ガ出來マス、サウ云フコトヲ分テ居リマクノデ、先ヅ以テ鑛區ノ上ヲ干涉致シテ居ル鑛山監督署デ、段々整理ガ付イテ往キマス、雙方ノ區域ガヤンツ極マル、極マルト同時ニ其權利ヲ得ヤウトシテ企マスモノガ、往々ゴザイマス、ソナ問題ヲ離レテ考ヘマシテモ、其小サナ鑛區ガ獨立シ、總テ設備ヲ新ニシテ、其間隔地ノ區別ヲ決裁スルト云フコトハ、經濟上ニ面白クナイ、サウ云フコトハ既ニ其近傍ニ喰ヒ着イテ、立派ノ鑛業家ガアル以上ハ、其鑛業ニ附屬セシメ、其鑛區ヲ擴張シテ其鑛區ヲ擴張スルト云フノハ、往々アルノデゴザイマスカラ、鑛脈ノ狀況等ニ依ッテ、適當ナリトスル方ノ鑛區ニ喰ヒ着イテ、サウシテ仕事ヲセシメタ方ガ、所謂營業費モ減ゼラレタ結果、利益ガアラウト云フ觀念カラシテ、是ガ起ツタノデゴザイマス、制限ノコトデアッテ、今ノ見込ニシテモ、多少變更モアッタガタメニ、特ニドウト云フ關係ガアルト云フコトモゴザイマセヌケレドモ成ルベクハ一ツ御賛成ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ唯今記憶致シテ居リマセヌガ、此鑛區ノ凡ソノ制限ヲ、此位ニスルノガ適當デアルト云フコトニ付

イテハ、先日モ申上マシタガ、此全國ノ重ナル鑛業家ノ代表者ガ集ラレテ、鑛業諮問會ヲ開カレタ時ニ、ヤハリ斯ウ云フ御氣附デアッタト記憶シテ居リマス、夫ハ御參考マデニ申上テ置キマス

○平岡浩太郎君 前ノ諮問會ヲ開イタ頃ノ鑛業ノ度合ト、今日ノ度合ト非常ニ違ウデス、前ニ開イタ時ハ、殆ド萬坪以上ノ石炭鑛區ニシタ所ノモノハ、ナカッタ有様デアッ、其時代デアリマシタカラ、夫デ偶々九州地方ニ炭山ガ起ッテ參リマシタ時ニハ、三十萬坪ノ鑛區ガ一番太イ繩張デアッタ、其頃六十萬坪ト定メタ時ニハ、實ハ皆ビツクリシタノデアリマス、夫カラ其諮問會ヲ開イタ時ノ鑛業ノ度合ハ、今日ノ度合ト大變違ウカラ、夫デ此六十萬坪ト云フノ百万坪トシテモ、今日ハサウ不適當ナコトデハナイト思ヒマス

○政府委員田中隆三君 チョット御答致マスガ、此六十萬坪ヲ百万坪トスル御意見ハ、益々鑛業ノ大ナル望ムト云フ御主意デ唯々程度問題ニ差異ハアリマスケレドモ、當局者ノ希望スルコト、希望ハ同シコトデゴザイマスカラ、皆サンノ御意見ガ多キヲ望ムト云フ思召ナレバ、強イテ反對スル譯デハゴザイマセヌケレドモ、又一方ニ御承知ノ少サクスルト云フ方ハ、却ッテ後ト戻リノ説デゴザリマシテ、先程申上マシタ弊害ノ方ノ恐モゴザイマスデ、其方ハ絶體的ニ政府トシテハ、反對ハ致シマセヌデアリマスガ……

○伊藤傳右衛門君 私ハ今平岡君カラ述ベラレマシタ、六十萬坪ヲ百万坪ニスルト云フコトハ、私ハ御同感デ、夫カラ鑛物ノ五千坪ヲ三千坪、夫カラ石炭鑛區ノ五萬坪ヲ三萬ニ修正、是ハ私ハ前ニ述ヘヤウト思ッタガ、政府委員カラ述ヘラレマシタカラ、私ハ述ヘル必要ハゴザイマセヌガ、六十萬坪ヲ百万坪ニスルト云フ方ハ、贊成デアリマス、五萬坪ヲ三萬坪ニスルト云フ方ハ、私ハ甚ダ不贊成デアリマスカラ、政府案ニ贊成ヲ致シマス、少シ其理由ヲ述ヘヤウト思ヒマスガ……

○荒谷桂吉君 五千坪トシテ今現在鑛區ニナッテ居ルモノデ、五萬坪以內ニナッテ居ルモノハ、現在下ノ位デスカ

○政府委員田中隆三君 石炭々山デ、一萬坪以下ノガ十五ゴザイマス、是ハ實地今續イテ許可ニナッテ居リマス、三萬坪以下ガ、四百九十八ゴザイマス、夫カラ五十坪以下ガ二百五十一ゴザイマス、サウスルト三萬坪ト五萬坪ノ差ハ、二百五十一ゴザイマス金屬山ノ方ハ三千坪以下ガ六十九夫カラ五千坪以下ガ二百七十四、ソウ云フ計算ニナッテ居リマス

○平岡浩太郎君 細マイ方ノヤツハ、私ハ宜イト思ヒマス、今マデアルヤツハ、現存シテ何時マデアアルデセウモウ、今炭山ナドハ五萬坪以下ノ借區ヲ願ハントシテ、モサウ云フ所ハモウゴザイマセヌ、夫カラ金屬鑛ニシタ所ガ、追々經營ガ大キクナッテ來タカラ、三千坪ニシテヤラナケレバナラヌ程ノコトハナイ、昔私ガ鑛業ヲ初メタ時分ハ、大抵二千坪カラ二千坪ノ借區デアッテ今殘ッテ居ル少サナ鑛山ト云フモノハ、悉クナンダカ百性ノ農間ニデモ堀ルヤツガ、殘ッテ居ルカラ、五萬坪以下ノ鑛區デアハ鑛業ト云フ仕事ハ、トデモ出來ルモノデナイト思ヒマスカラ、是ハ原案ガ宜シウゴザイマス

○金子元三郎君 平岡君ノ説ニ贊成ヲ致シマス

○委員長堀田連太郎君 是ハイロ／＼ニナッテ居リマスカラ、ソレデハ斯ウ云フ順ニシテ決ヲ取リマス、最小限ノ方ガ、石炭ニアッテハ五萬坪、ソレカラ他ノ鑛物ニアッテハ五千

坪、之ヲ一ツ別々ニ採リマシテ、尙最大限ノ六千萬坪ヲ百万坪トスルト云フノヲ、別ニ採リマス、先ゾ石炭ニアッテハ、五萬坪ト云フノニ、三萬坪ト云フ御説ガ出テ居リマスガ、是ハ贊成者ガアリマセヌ、ソレカラ他ノ鑛物ニアリテハ、五千坪以上ト云フノヲ三千坪ト云フコトニスルト云フニハ、贊成ガアリマスカラ、之ヲ一ツ決ヲ採リマス、ソレデ此ノ原案ノ通り、五千坪以上トスルト云フコトニ、御同意ノ御方ハ、手ヲ舉ゲテ下サイ

○委員長堀田連太郎君 少數デス、ソレカラ本案ノ六十万坪トアルノヲ、百万坪ニスルト云フコトニ、御同意ノ御方ハ、手ヲ舉ゲテ下サイ

○委員長堀田連太郎君 多數ト認メマス、サウ致シマス、改メテ申シテ置キマスガ、最少限ノ方ハ政府案通り、ソレカラ最大限ノ方ガ、六十万坪トアルノガ百万坪トナル、斯ウ云フ結果ニナリマス、他ニ御異議ハアリマセヌカ

○委員長堀田連太郎君 今日ハ是デ散會致シマス

午後三時五十四分散會

明治三十七年十二月二十二日印刷

明治三十七年十二月二十三日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局